



志木二小だより

http://www.shiki2syo.ed.jp/ 志木二小 検索

令和3年度 11月号
志木市立志木第二小学校
志木市館1丁目2番1号
TEL 472-0540

学校教育目標 **進んで学ぶ子 心の豊かな子 体をきたえる子**

児童数	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	たんぽぽ	10/22現在
	92	85	75	97	70	77	15	511名

読書の秋 ～みんなで読書通帳コンプリート目指して～

校長 松本 秀之

学校周辺の落ち葉が冷たい風に吹かれ、校門の前を行ったり来たりしています。急に冷え込みに、秋の深まりを感じるこの時期は、読書に親しむにはぴったりの季節です。

さて、子供たちにとって読書は多くのメリットがあります。その中でも、特に次の3つのメリットは、子供のうちから身に付けさせたいものです。

① 知識が身につけ引き出しが増える

本を読んでいると自然と新しい考え方や知らなかった情報を発見することができるので、読書以外の日常生活でも役立つ知識も増えていきます。

② コミュニケーション能力がつく

読書の中で文章を読んでいくうちに語彙力や文章力も身に付きますし、本の内容から得た知識はさまざまな人と会話をする上で話題にできます。

③ 想像力がつく

読んだ文字からその時の状況や場面を想像することが必要で、これを繰り返すことにより、アイデアが浮かびやすくなり、物事を柔軟に考えることができるようになります。

とは言うものの、なかなか読書が習慣化できないという声もよく聞きます。そこで、せっかくの読書の秋。ぜひ、次のように取り組んでみてはいかがでしょうか。

① 本はともだち

本を常に持ち歩いたり、友達の家に行く感覚で図書館や本屋さんへ行ったり。気が付けばとなりにいる、ホッとする存在・・・なんて素敵ですね。

② 親子で読書

決して強制するのではなく、親子で一緒に。親自身が本を楽しんでいる姿を、子供に見せてあげられるといいですね。

③ 気楽に読書

始めから難しい本はムリ。人気の作品や流行りの1冊、マンガノベルもよし。こたつでゴロゴロしながらもあります。1日1回、短くても、本に触れる時間が作れるといいですね。

先日、全児童に【読書通帳】を配布しました。この読書通帳は、志木市の子供たちが、読書意欲を高め、読書習慣をに付けることで、図書館の利用へ結びつけることを目的としています。なんと、おうちの本でも、学校の図書室で借りた本でも記録することができるそうです。ぜひ、たくさん本を手にする機会を増やし、本好きな子供たちを育てていきましょう。

